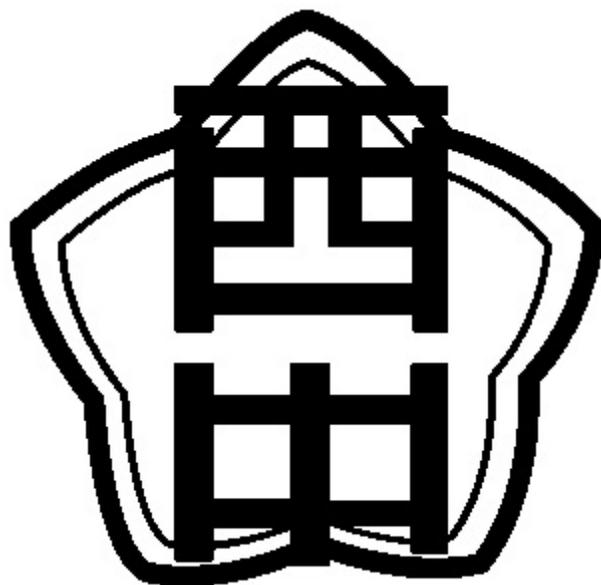


令和6年度 学校教育自己診断報告書

-生徒・保護者・教員の学校教育アンケート回答に基づく-



令和7年3月

河内長野市立西中学校

令和6年度 学校教育自己診断 報告書

河内長野市立西中学校
校長 上田 孔士

1. はじめに

本校では、生徒、保護者、教職員等の本校の教育に対する幅広い考えを知る目的で、「令和6年度学校教育自己診断」を実施しました。この報告書では生徒、保護者の評価を中心にその結果を考察することで、本校の来年度以降の教育活動に活かしていきたいと考えています。

2. 調査内容

本校の現状や課題等を考慮し、調査項目を設定し、1～3年生徒、保護者、教職員に対してアンケート形式で調査を実施しました。項目は、生徒アンケートでは25項目、保護者アンケート、教員アンケートでは30項目について行いました。また、要望等を自由に記述する欄も設けました。令和6年12月上旬頃より調査を実施し、順次集計及び考察、以降関係者への周知を行い、3月にはホームページに掲載する予定です。

3. 調査結果

1) 生徒調査

○生徒の肯定的回答の割合が高かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して80%以上）は以下の通りです。

- 21. 地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいか避難訓練の時に教わっている。97%
- 20. 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。95%
- 14. 将来の進路や生き方について学習する機会がある。94%
- 15. 学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。92%
- 18. 体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。92%
- 13. 先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。91%
- 6. 先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。90%
- 12. 先生は、私たちが困っていることについて親身になって相談に乗ってくれる。89%
- 7. 先生は、ICT機器（電子黒板・パソコン等）を使って工夫した授業をしてくれる。89%
- 1. 学校へ行くのが楽しい。87%
- 8. 英語や数学の少人数や複数の先生による授業は、理解しやすい。87%
- 11. 先生は他の子に知られたくない秘密を守ってくれる。85%
- 16. 授業やホームルームなどで、人の生きかたや豊かな心のあり方について考える機会がある。83%
- 25. 西中学校が好きです。83%
- 5. 先生は、学習で自分で努力したことを認めてくれる。80%

●生徒の肯定的回答の割合が低かった（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して65%以下）は、以下の通りです。

24. 朝読書は集中して取り組みでいる。43%

3. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。56%

2) 保護者調査

○保護者の肯定的な回答の割合が高かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して80%以上）は以下の通りです。

2. 子どもの学校生活や家庭外での生活について注意して見守っている。100%

26. 地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。98%

23. 職業体験（2年生）は、生徒にとって有意義な教育活動である。97%

16. 英語と数学での少人数指導は、生徒の学習ペースに合っている。92%

15. 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、生徒の学習にとって効果的である。91%

28. 学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。91%

10. 学校は、学校運営協議会を運営し、学校、保護者、地域で子どもを育てるよう積極的に教育活動を行っている。86%

5. 学校便りや学年通信・学級通信など学校からの通信はできるだけ見ている。86%

25. 生徒会活動は活発である。86%

1. 学校の教育活動について関心を持っている。85%

7. 学校は、教育方針について学校だよりなどを通じて、わかりやすく伝えている。85%

14. 学校は、評価や成績の出し方について、丁寧に説明している。81%

21. 先生はすべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。81%

22. 先生は子どもを理解しながら間違った行動は適切に指導してくれる。81%

●保護者の肯定的回答の割合が低かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して50%以下）は、「9. 学校は、生徒が自分の考えや意見を英語で伝えられるように指導している。」（39%）「19. 学校は、食育について取り組んでいる。」（32%）でした。以下は肯定的な回答が75%に達していない項目を挙げています。

8. 学校は、小中一貫教育を積極的に推し進めている。52%

27. 学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。59%

29. 学校では、PTA活動が活発である。62%

11. 学校は、部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう積極的に指導している。63%

18. 英語数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。67%

13. 学校は、保護者・地域の願いに応えている。69%

3. 授業参観や学級懇談会、PTA活動等にはできるだけ参加している。72%

20. 学校は子どものことについて気軽に相談でき、適切にに応じてくれる。74%

6. 学校は、家庭との連絡・連携を、丁寧にとっている。74%

3) 教職員調査

○教員の肯定的回答の割合が高かった「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して80%以上)は以下の通りです。

1.この学校は、生徒や保護者などのニーズに合った特色ある教育活動がなされている。100%

2.教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。100%

3.学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。100%

4.各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。100%

5.生徒の実態をふまえ、ICT 機器を活用するなど、指導方法の工夫・改善を行っている。100%

6.到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。100%

7.学習意欲が高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。100%

1.生徒指導において、生徒の人権を尊重して行っている。100%

12.生徒指導において、家庭と緊密な連携ができています。100%

14.校則が生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるか生徒や教職員の間で話合う機会がある。100%

15.生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう学年に応じ系統的な進路指導を行っている。100%

16.生徒一人一人が興味・関心適性に応じて進路選択ができるようきめ細かい情報提供している。100%

17.生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのために、学校全体で取り組んでいる。100%

19.生徒が、生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう年間指導計画に基づき道徳の時間を中心に道徳の授業を行っている。100%

26.保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている。100%

29.習熟度別指導は、学力向上や授業改善への取り組みにつながると思う。100%

9.いじめや校内暴力など生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。92%

10.様々な問題行動の防止のため、早期指導に学校全体で心がけている。92%

13.生徒指導において、関係諸機関との緊密な連携ができています。91%

18.学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。91%

23.職員会議をはじめ学年会議や教科会議が、情報交換の場として有効に機能している。91%

30.西中学校は好きである。91%

8.観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。90%

25.日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。90%

22.各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。84%

20.人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。83%

21.人権問題を正しく理解し差別や偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。83%

28.小中連携・小中一貫教育を積極的に推し進めている。83%

●教員の肯定的回答の割合が低かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して70%以下）は、以下の通りです。

27.部活動を学校教育の一環として意識し、活性化させるよう努めている。64%

4. 考察及び今後の改善方策

1) 生徒の調査結果から

【成果】

○「1.学校へ行くのが楽しい。(87%)」「5.先生は学習で努力したことを認めてくれる。(80%)」「6.先生は教え方に色々な工夫をしている。(90%)」「13.先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。(91%)」の肯定的な回答が80%を超えており、学校生活への親和性や教員との良好な関係性があると言えます。

○「18.体育大会・宿泊行事等の学校行事は楽しみである。(91%)」「20.人権や命の大切さ、社会のルールについて学習している。(95%)」「21.地震や火災が起こった場合どうしたらよいか避難訓練の時に教わっている。(97%)」「23.学校生活において自分自身が改めなければ課題がある。(97%)」の肯定的な回答が90%を超えており、学校行事への自主性や、人権学習、防災学習のほか学校生活での自らの課題について真摯に向き合う心性が養われていると言えます。

【課題】

●「3.授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(56%)」「4.授業で分からないことについて先生に質問しやすい。(72%)」「9.英語と数学の少人数や複数先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。(71%)」「17.学級活動では、意見を発表する機会がある。(78%)」の肯定的回答の割合から、これまでに引き続き、授業改善の観点で、授業や単元の終わりに学んだことを振り返り、教科の授業や学級活動で、学んだこと、知ったこと、考えていることを整理する、まとめる、発表する活動を充実させることが課題であると言えます。また、分からない事や疑問に思ったことを質問することで理解をすすめることも改善すべき課題です。

●「4.授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。(56%)」「24.ほのぼのフェスタや清掃活動等のボランティア活動には、積極的に参加したいと思っている。(60%)」の肯定的解答が60%以下であったことから、授業の生徒の活動において話し合いやまとめの結果を発表する場面や自主的に参加しようと思える活動を多く設けるようにします。

●「19.生徒会活動や学級活動に積極的に参加、協力している。(70%)」「22.西中学校の生徒は豊かな心を持ち、お互いに尊重し合っている。(68%)」の肯定的回答が70%程度であったことから、クラスや委員会を含めた生徒会活動等小さな集団での意見の調整や取り組みへの意欲に伸びしろがあると分かります。また、生徒どうして互いに尊重する気持ちを多くの生徒が共に持てるよう対話を通じて相手を理解していくことをすすめていくことが課題といえます。

2) 保護者の調査結果から

【成果】

○「1.学校の教育活動について関心を持っている。」(85%)「2.子どもの学校生活や家庭外での生活について注意して見守っている。」(94%)「5.学校だよりや学年通信・学級通信など学校からの通信はできるだけ見ている。」(85%)の肯定的回答の割合が85%を超えており、保護者が学校教育や家庭での見守りについて高い関心があることが分かります。

○「15.英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は生徒の学習にとって効果的である。」(88%)「16.英語と数学の少人数指導は生徒のペースに合っている」(88%)の肯定的回答の割合は85%を超えており、英語数学の少人数指導の学習効果や学習のペースが生徒に合っている事についての評価の表れといえます。

○「23.職業体験は生徒にとって有意義な教育活動である」(98%)「26.地震や台風などの場合の対応について子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている」(98%)の肯定的回答の割合が95%を超えており、職場体験を通じて社会に出て必要な資質能力を育てる活動の意義についてや非常災害時の行動について学校から発信する情報についての認識を共有していることがわかります。

【課題】

●「8.学校は、小中一貫教育を積極的に推し進めている」(54%)「13.学校は保護者・地域の願いにこたえている」(69%)の肯定的回答の割合が70%を下回っており、市の推進事業である小中一貫教育の取り組みをこれまで以上に充実させ、その成果を保護者が感じられるようにするとともに、学校は保護者・地域との対話を大切にして、希望や願いを汲み取る姿勢が求められています。

●「19.学校は食育について積極的に取り組んでいる」(30%)「27.学校の施設、施設面での環境整備は十分である」(57%)「29.学校では、PTA活動が活発である」(59%)の肯定的回答の割合が60%を下回っています。食育については、朝食摂取の指導を熱中症予防や活動力向上の視点で行っていますが、保護者の実感にまでは至っていません。PTA活動の活性化の課題と合わせて、子どもの健康と安全のために、給食試食会や調理・食に関する研修会等の催しの企画を検討します。また、学校の施設においては、老朽

化している箇所の修繕依頼を所管の教育委員会部署に行い、迅速に対応することを継続します。

3) 教職員の調査結果から

【成果】

○「1.生徒や保護者のニーズに合った特色ある教育活動がなされている。（*62%）」
「4.教科において基礎基本を明確にし、教材の精選工夫を行っている。（*67%）」
「29.習熟度別指導は学力向上や授業改善への取り組みにつながると思う。（*62%）」
において強い肯定的な回答（*「よくあてはまる」の回答）が3分の2を超えており、地域のニーズに合わせた教育活動の実践を自覚していると分かります。また、学習面においては、基本を重視して教材を研究するとともに、少人数習熟度別授業で生徒の学力向上や授業改善につなげる意識を持って取り組んでいることが分かります。

【課題】

●「17.生徒がい機器と学ぶことができる学級づくりのために学校全体で取り組んでいる。（*31%）」
「20.人権尊重に関する様々な課題や指導方法について全教職員で話し合っている。（*25%）」
「21.人権問題を正しく理解し、偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。（*41%）」
において、強い肯定的な回答が40%程度であったことから、学級づくりや集団づくり、人権教育について、全教職員で取り組んでいく機運をこれまで以上に高め、その実感が得られるようにすることが課題であると言えます。

●「8.観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。（*55%）」
「22.各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。（*41%）」
「24.教職員の相互理解が十分になされて信頼関係に基づいて教育活動が行われている。（*46%）」
「27.部活動を学校教育の一環として意識し、活性化させるよう努めている。（*36%）」
において、強い肯定的な回答が50%程度であったことから、特別活動における専門委員会や生徒会活動のあり方、学力向上や評価のあり方などについて教職員間の相互理解を土台とした対話や協力に基づいて研究がすすめられることが求められます。

部活動の活性化については、地域移行・地域展開が推進されようとしている状況と現学習指導要領で位置づけられている学校教育の一環という考え方の間で教員の迷いや混乱の様相が見て取れます。この状況であることを踏まえても、部活動の活性化を通じて生徒の体験的活動を十分にできる機会ととらえて取り組まれるようにします。

5. おわりに

保護者・生徒・教員の調査より明らかになった教育活動の課題を真摯に受け止め、成果を得た項目については継続して充実させることを、課題のある項目については研究や改善をすすめ、よりよい教育活動をめざします。この調査にご協力いただいた保護者の皆様、生徒の皆さんご協力ありがとうございました。

令和6年度 学校教育自己診断結果の分析表

	成果	課題と取り組み
生徒	<p>○「1.学校へ行くのが楽しい。(87%)」「5.先生は学習で努力したことを認めてくれる。(80%)」「6.先生は教え方に色々な工夫をしている。(90%)」「13.先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。(91%)」の肯定的な回答が80%を超えており、<u>学校生活への親和性や教員との良好な関係性があると言えます。</u></p> <p>○「18.体育大会・宿泊行事等の学校行事は楽しみである。(91%)」「20.人権や命の大切さ、社会のルールについて学習している。(95%)」「21.地震や火災が起こった場合どうしたらよいか避難訓練の時に教わっている。(97%)」「23.学校生活において自分自身が改めなければ課題がある。(97%)」の肯定的な回答が90%を超えており、<u>学校行事への自主性や、人権学習、防災学習のほか学校生活での自らの課題について真摯に向き合う心性が養われていると言えます。</u></p>	<p>●「3.授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(56%)」「4.授業で分からないことについて先生に質問しやすい。(72%)」「9.英語と数学の少人数や複数先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。(71%)」「17.学級活動では、意見を発表する機会がある。(78%)」の肯定的回答の割合から、これまでに引き続き、授業改善の観点で、<u>授業や単元の終わりに学んだことを振り返り、教科の授業や学級活動で、学んだこと、知ったこと、考えていることを整理する、まとめる、発表する活動を充実させることが課題であると言えます。また、分からない事や疑問に思ったことを質問することで理解をすすめることも改善すべき課題です。</u></p> <p>●「4.授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。(56%)」「24.ほのぼのフェスタや清掃活動等のボランティア活動には、積極的に参加したいと思っている。(60%)」の肯定的解答が60%以下であったことから、<u>授業の生徒の活動において話し合いやまとめの結果を発表する場面や自主的に参加しようと思える活動を多く設けるようにします。</u></p> <p>●「19.生徒会活動や学級活動に積極的に参加、協力している。(70%)」「22.西中学校の生徒は豊かな心を持ち、お互いに尊重し合っている。(68%)」の肯定的回答が70%程度であったことから、<u>クラスや委員会を含めた生徒会活動等小さな集団での意見の調整や取り組みへの意欲に伸びしろがあると分かります。また、生徒どうして互いに尊重する気持ちを多くの生徒が共に持てるよう対話を通じて相手を理解していくことをすすめていくことが課題といえます。</u></p>
保護者	<p>○「1.学校の教育活動について関心を持っている。」(85%)「2.子どもの学校生活や家庭外での生活について注意して見守っている。」(94%)「5.学校だよりや学年通信・学級通信など学校からの通信はできるだけ見ている。」(85%)の肯定的回答の割合が85%を超えており、<u>保護者が学校教育や家庭での見守りについて高い関心があることが分かります。</u></p> <p>○「15.英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は生徒の学習にとって効果的である。」(88%)「16.英語と数学の少人数指</p>	<p>●「8.学校は、小中一貫教育を積極的に推し進めている」(54%)「13.学校は保護者・地域の願いにこたえている」(69%)の肯定的回答の割合が70%を下回っており、<u>市の推進事業である小中一貫教育の取り組みをこれまで以上に充実させ、その成果を保護者が感じられるようにするとともに、学校は保護者・地域との対話を大切にして、希望や願いを汲み取る姿勢が求められています。</u></p> <p>●「19.学校は食育について積極的に取り組んでいる」(30%)「27.学校の施設、施設面での環境整備は十分である」(57%)「29.学校では、PTA</p>

<p>導は生徒のペースに合っている」(88%)の肯定的回答の割合は85%を超えており、<u>英語数学の少人数指導の学習効果や学習のペースが生徒に合っている事についての評価の表れといえます。</u></p> <p>○「23. 職業体験は生徒にとって有意義な教育活動である」(98%)</p> <p>「26. 地震や台風などの場合の対応について子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている」(98%)の肯定的回答の割合が95%を超えており、<u>職場体験を通じて社会に出て必要な資質能力を育てる活動の意義についてや非常災害時の行動について学校から発信する情報についての認識を共有していることがわかります。</u></p>	<p>活動が活発である」(59%)の肯定的回答の割合が60%を下回っています。食育については、朝食摂取の指導を熱中症予防や活動力向上の視点で行っていますが、<u>保護者の実感にまでは至っていません。</u>PTA 活動の活性化の課題と合わせて、<u>子どもの健康と安全のために、給食試食会や調理・食に関する研修会等の催しの企画を検討します。</u>また、<u>学校の施設においては、老朽化している箇所の修繕依頼を所管の教育委員会部署に行い、迅速に対応することを継続します。</u></p>
<p>教員</p> <p>○「1.生徒や保護者のニーズに合った特色ある教育活動がなされている。(※62%)」「4.教科において基礎基本を明確にし、教材の精選工夫を行っている。(※67%)」「29.習熟度別指導は学力向上や授業改善への取り組みにつながると思う。(※62%)」において強い肯定的な回答(※「よくあてはまる」の回答)が3分の2を超えており、<u>地域のニーズに合わせた教育活動の実践を自覚していると分かります。</u>また、<u>学習面においては、基本を重視して教材を研究するとともに、少人数習熟度別授業で生徒の学力向上や授業改善につなげる意識を持って取り組んでいることが分かります。</u></p>	<p>●「17.生徒がいきいきと学ぶことができる学級づくりのために学校全体で取り組んでいる。(※31%)」「20.人権尊重に関する様々な課題や指導方法について全教職員で話し合っている。(※25%)」「21.人権問題を正しく理解し、偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。(※41%)」において、強い肯定的な回答が40%程度であったことから、<u>学級づくりや集団づくり、人権教育について、全教職員で取り組んでいく機運をこれまで以上に高め、その実感が得られるようにすることが課題であると言えます。</u></p> <p>●「8.観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。(※55%)」「22.各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。(※41%)」「24.教職員の相互理解が十分になされて信頼関係に基づいて教育活動が行われている。(※46%)」「27.部活動を学校教育の一環として意識し、活性化させるよう努めている。(※36%)」において、強い肯定的な回答が50%程度であったことから、<u>特別活動における専門委員会や生徒会活動のあり方、学力向上や評価のあり方などについて教職員間の相互理解を土台とした対話や協力に基づいて研究がすすめられることが求められます。</u></p> <p><u>また、部活動の活性化については、地域移行・地域展開が推進されようとしている状況と現学習指導要領で位置づけられている学校教育の一環という考え方の間で教員の迷いや混乱の様相が見て取れます。この状況であることを踏まえても、部活動の活性化を通じて生徒の体験的活動を十分にできる機会ととらえて取り組めるようにします。</u></p>

令和6年度 学校教育自己診断集計結果(生徒アンケート)

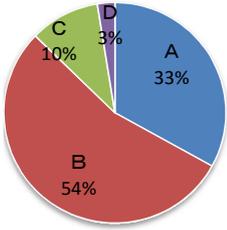
A:よくあてはまる

B:ややあてはまる

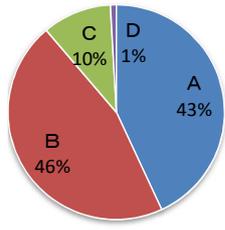
C:あまりあてはまらない

D:まったくあてはまらない

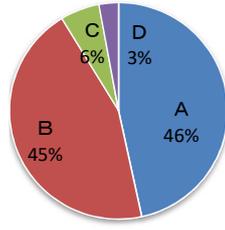
1 学校へ行くのが楽しい



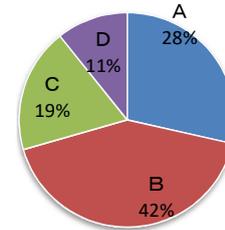
先生は、ICT機器(電子黒板・パソコン等)を使って工夫した授業をしてくれる。



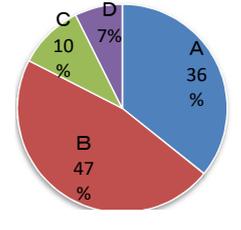
13 先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。



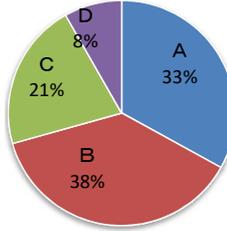
19 生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。



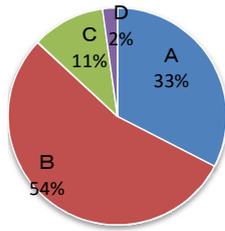
25 西中学校が好きです。



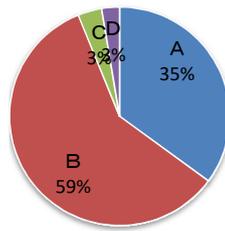
2 担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。



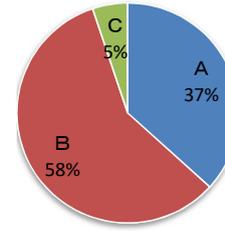
8 英語や数学の少人数や複数の先生による授業は、理解しやすい。



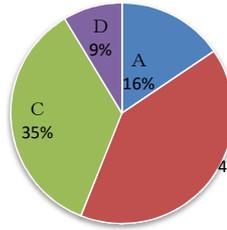
14 将来の進路や生き方について学習する機会がある。



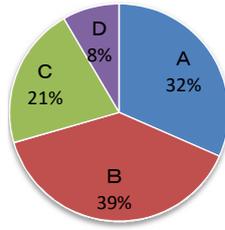
20 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。



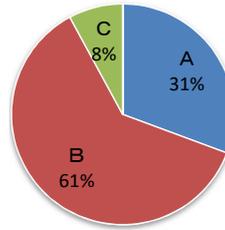
3 授業で自分の考えをまとめたり、発表することができる先生がいる。



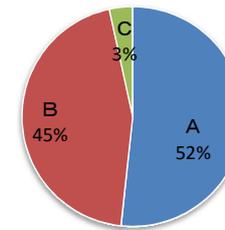
9 英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。



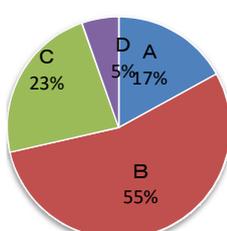
15 学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。



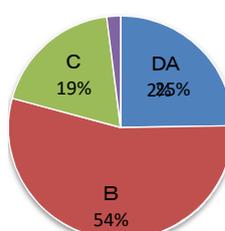
21 地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいか避難訓練の時に教わっている。



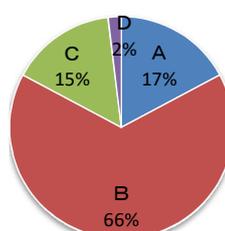
4 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。



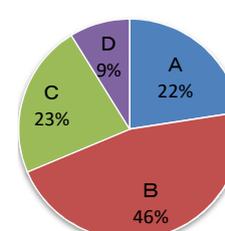
10 英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、あきらめずに問題に取り組むようになった。



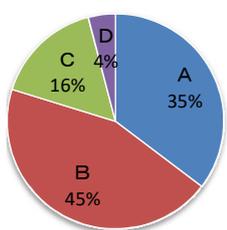
16 授業やホームルームなどで、人の生きかたや豊かな心のあり方について考える機会がある。



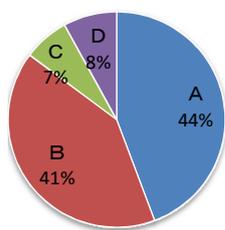
22 西中学校の生徒は豊かな心をもちお互いに尊重しあっている。



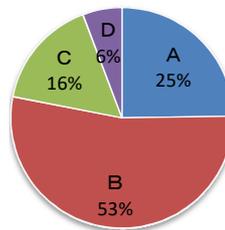
5 先生は、学習で自分で努力したことを認めてくれる。



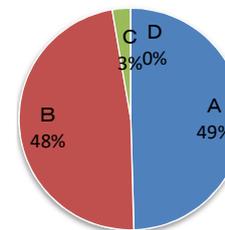
11 先生は他の子に知られたくない秘密を守ってくれる。



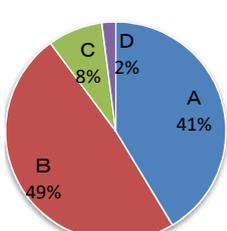
17 学級活動では意見を発表する機会がある。



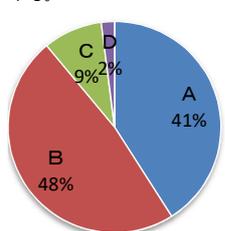
23 学校生活において、生徒自身が改めなければならない課題がある。



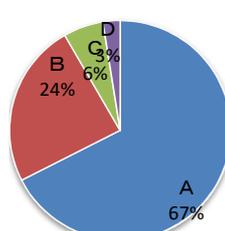
6 先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。



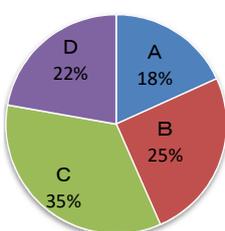
12 先生は、私たちが困っていることについて親身になって相談に乗ってくれる。



18 体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。



24 朝読書は集中して取り組んでいる。



令和6年度 学校教育自己診断集計結果(保護者アンケート)

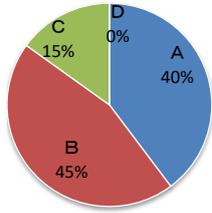
A:よくあてはまる

B:ややあてはまる

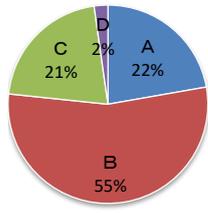
C:あまりあてはまらない

D:まったくあてはまらない

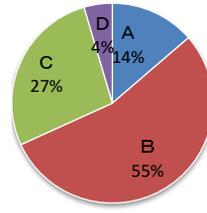
1 学校の教育活動について関心を持っている。



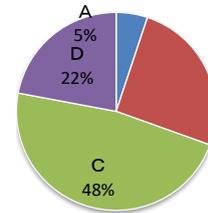
7 学校は、教育方針について学校だよりなどを通じて、わかりやすく伝えている。



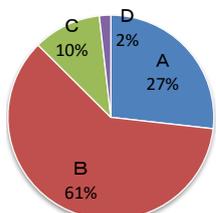
13 学校は、保護者・地域の願いに応じている。



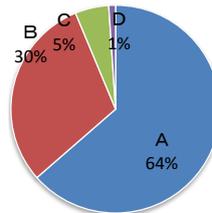
19 学校は食育について積極的に取り組んでいる。



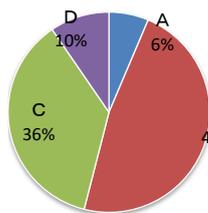
25 生徒会活動は活発である。



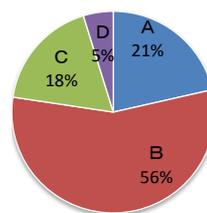
2 子どもの学校生活や家庭外での生活について注意して見守っている。



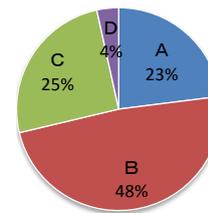
8 学校は、小中一貫教育を積極的に推進している。



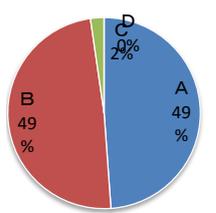
14 学校は、評価や成績の出し方について、丁寧に説明している。



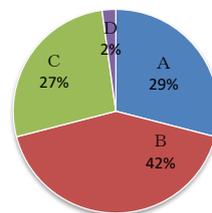
20 学校は子どものことについて気軽に相談でき、適切に対応してくれる。



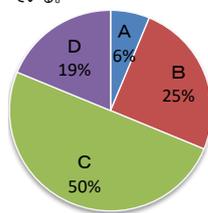
26 地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。



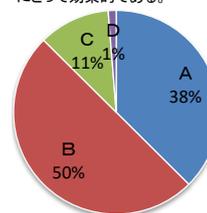
3 授業参観や学級懇談会、PTA活動等にはできるだけ参加している。



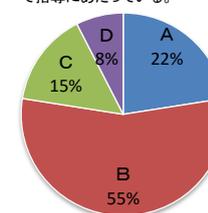
9 学校は、生徒が自分の考えや意見を英語で伝えられるように指導している。



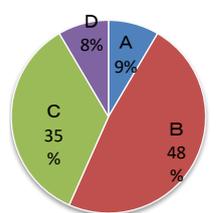
15 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、生徒の学習にとって効果的である。



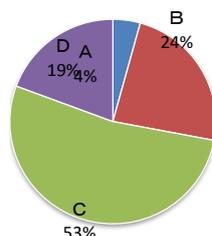
21 先生はすべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。



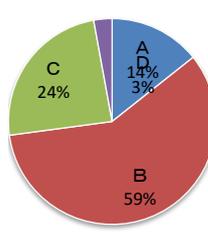
27 学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。



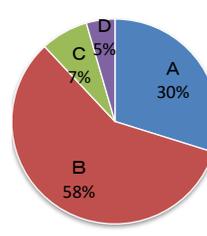
4 青少年健全育成会や地域の活動にはできるだけ参加している。



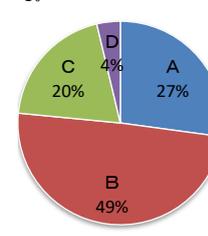
10 学校は、学校運営協議会を運営し、学校、保護者、地域で子どもを育てよう積極的に教育活動を行っている。



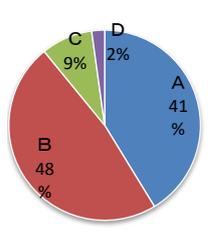
16 英語と数学での少人数指導は、生徒の学習ペースに合っている。



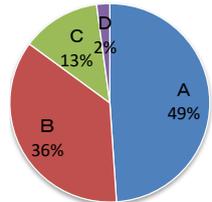
22 先生は子どもを理解しながら間違った行動は適切に指導してくれる。



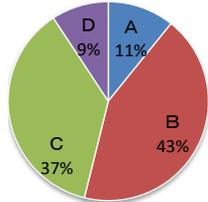
28 学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。



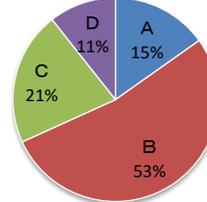
5 学校便りや学年通信・学級通信など学校からの通信はできるだけ見ている。



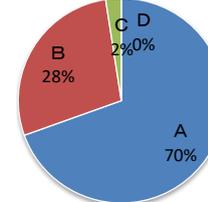
11 学校は、部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう積極的に指導している。



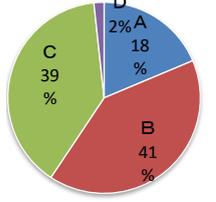
17 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業により、生徒の学習意欲が向上している。



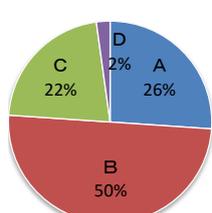
23 職業体験(2年生)は、生徒にとって有意義な教育活動である。



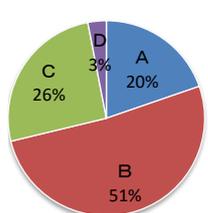
29 学校では、PTA活動が活発である。



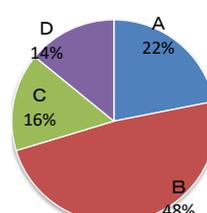
6 学校は、家庭との連絡・連携を、丁寧にしている。



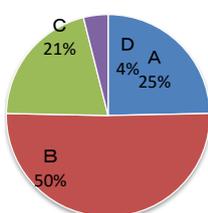
12 学校は、担任、スクールカウンセラー、生徒支援員などによる相談体制充実といじめ対応と不登校支援を積極的にしている。



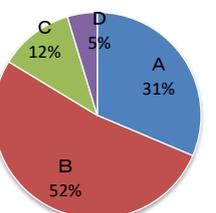
18 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。



24 進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。



30 西中学校は、いい学校である。



令和6年度 学校教育自己診断集計結果(職員アンケート)

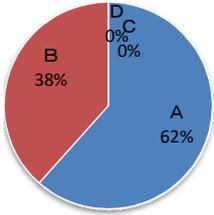
A:よくあてはまる

B:ややあてはまる

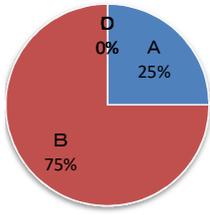
C:あまりあてはまらない

D:まったくあてはまらない

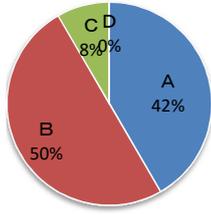
1 この学校は、生徒や保護者などのニーズに合った特色ある教育活動がなされている。



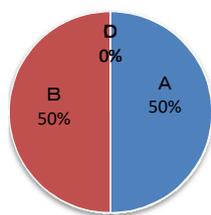
7 学習意欲が高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫している。



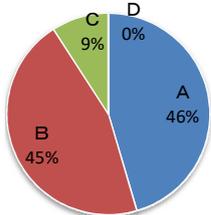
13 生徒指導において、関係諸機関との緊密な連携ができています。



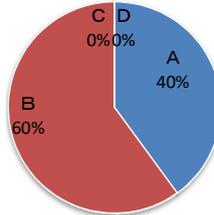
19 生徒が、生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう年間指導計画に基づき道徳の時間を中心に道徳の授業を行っている。



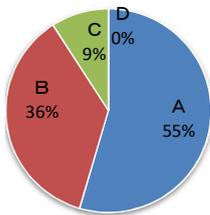
25 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。



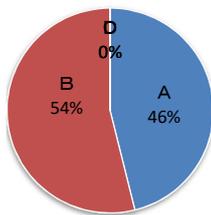
2 教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。



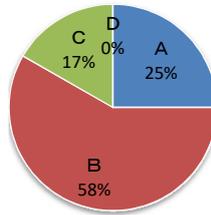
8 観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。



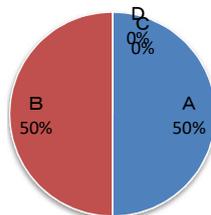
14 校則が生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるか生徒や教職員の間で話し合う機会がある。



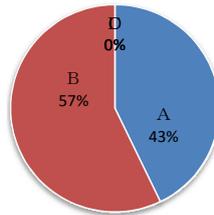
20 人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。



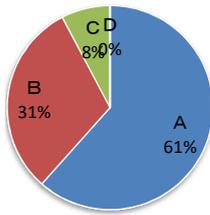
26 保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている。



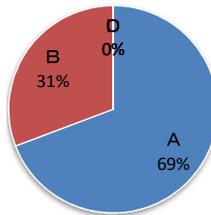
3 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。



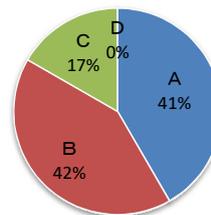
9 いじめや校内暴力など生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。



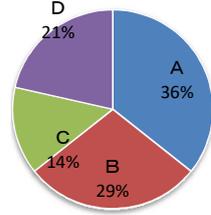
15 生徒が望ましい労働観、職業観を持つことができるよう学年に応じた体系的な進路指導を行っている。



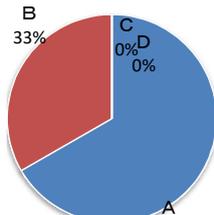
21 人権問題を正しく理解し差別や偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。



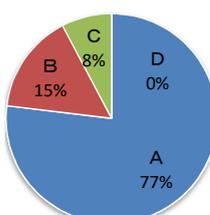
27 部活動が学校教育の一環として意識し、活性化させるよう努めている。



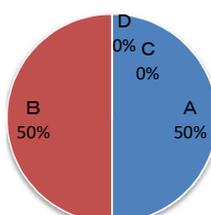
4 各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。



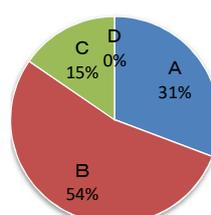
10 様々な問題行動の防止のため、早期指導に学校全体で心がけている。



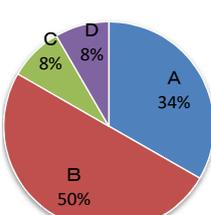
16 生徒一人一人が興味・関心適性に応じた進路選択ができるようきめ細かい情報提供している。



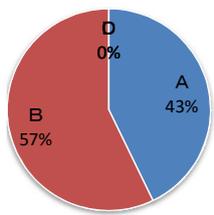
22 各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。



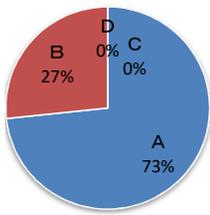
28 小中連携・小中一貫教育を積極的に推進している。



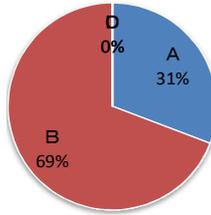
5 生徒の実態をふまえ、ICT機器を活用するなど、指導方法の工夫・改善を行っている。



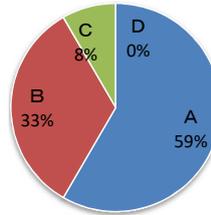
11 生徒指導において、生徒の人権を尊重して行っている。



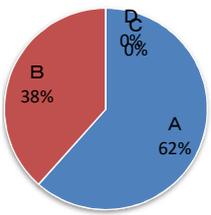
17 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのために、学校全体で取り組んでいる。



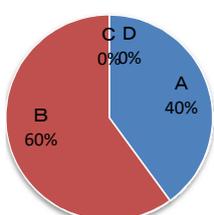
23 職員会議をはじめ学年会議や教科会議が、情報交換の場として有効に機能している。



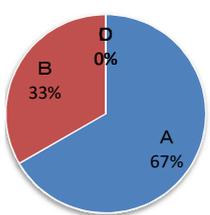
29 習熟度別指導は、学力向上や授業改善への取り組みにつながると思う。



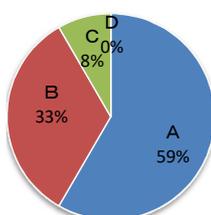
6 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。



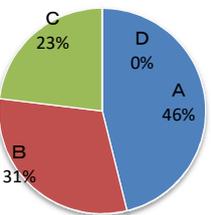
12 生徒指導において、家庭と緊密な連携ができています。



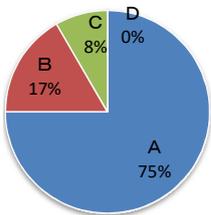
18 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。



24 教職員の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。



30 西中学校は好きである。



* 質問への肯定的な回答の割合を記載しています。

番号	質問項目	R3	R4	R5	R6
1	学校へ行くのが楽しい	86	79	68	87
2	担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。	71	69	65	71
3	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	73	75	57	56
4	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	81	71	58	71
5	先生は、学習で自分で努力したことを認めてくれる。	91	86	76	80
6	先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。	94	85	81	90
7	先生は、ICT機器（電子黒板・パソコン等）を使って工夫した授業をしてくれる。	81	93	87	89
8	英語や数学の少人数や複数の先生による授業は、理解しやすい。	78	84	74	87
9	英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすい意欲が向上した。	85	69	60	71
10	英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、あきらめずに問題に取り組むようになった。	90	73	68	79
11	先生は他の子に知られたくない秘密を守ってくれる。	90	86	74	85
12	先生は、私たちが困っていることについて親身になって相談に乗ってくれる。	90	87	74	89
13	先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。	-	-	79	91
14	将来の進路や生き方について学習する機会がある。	93	90	82	94
15	学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。	82	76	71	92
16	授業やホームルームなどで、人の生きかたや豊かな心のあり方について考える機会がある。	85	80	78	83
17	学級活動では意見を発表する機会がある。	81	85	75	78
18	体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。	91	92	88	92
19	生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。	73	69	52	71
20	人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。	99	95	88	95
21	地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかよく知っている。	89	85	83	97
22	西中学校の生徒は豊かな心を持ちお互いに尊重しあっている。	81	78	54	69
23	学校生活において、生徒自身が改めなければならない課題がある。	92	97	89	97
24	朝読書は集中して取り組み、役立っている。	83	76	41	43
25	西中学校が好きです。	80	71	66	83

学校教育自己診断アンケート（保護者）経年比較

*質問への肯定的な回答の割合を記載しています。

		R3	R4	R5	R6
1	学校の教育活動について関心を持っている。	79	74	75	85
2	子どもの学校生活や家庭外での生活について注意して見守っている。	85	88	87	100
3	授業参観や学級懇談会、PTA活動等にはできるだけ参加している。	48	47	61	73
4	青少年健全育成会や地域の活動にはできるだけ参加している。	46	13	12	31
5	学校便りや学年通信・学級通信など学校からの通信はできるだけ見ている。	85	75	71	86
6	学校は、家庭との連絡・連携を、丁寧にとってている。	81	85	81	75
7	学校は、教育方針について学校だよりなどを通じて、わかりやすく伝えている。	88	89	86	85
8	学校は、小中一貫教育を積極的に推し進めている。	55	51	58	53
9	学校は、生徒が自分の考えや意見を英語で伝えられるように指導している。	50	41	49	39
10	学校は、学校運営協議会を運営し、学校、保護者、地域で子どもを育てるよう積極的に教育活動を行っている。	65	68	78	87
11	学校は、部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう積極的に指導している。	38	40	51	63
12	学校は、担任、スクールカウンセラー、生徒支援員などによる相談体制充実とじめ対応と不登校支援を積極的に行っている。	79	74	83	76
13	学校は、保護者・地域の願いに応えている。	78	72	73	69
14	学校は、評価や成績の出し方について、丁寧に説明している。	89	81	83	82
15	英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、生徒の学習にとって効果的である。	87	88	87	92
16	英語と数学での少人数指導は、生徒の学習ペースに合っている。	80	83	78	92
17	英語と数学での少人数指導や複数教員による授業により、生徒の学習意欲が向上している。	77	64	66	76
18	英語数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。	72	62	65	68
19	学校は食育について積極的に取り組んでいる。	-	-	-	32
20	学校は子どものことについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	83	76	83	75
21	先生はすべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	81	73	73	81
22	先生は子どもを理解しながら間違っただ行動は適切に指導してくれる。	81	76	79	81
23	職業体験（2年生）は、生徒にとって有意義な教育活動である。	83	78	95	98
24	進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	72	64	83	77
25	生徒会活動は活発である。	69	69	69	86
26	地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	88	94	86	98
27	学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。	75	72	51	59
28	学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。	81	91	93	91
29	学校では、PTA活動が活発である。	63	64	66	63
30	西中学校は、いい学校である。	88	89	85	79